

# 2024年度 メリー★ポピinz 朝霞南ルーム保育園 事業報告書 (保育所における自己評価)

## 1. 2024年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

今年度に関しては園長が途中で交代と言う事態を受けて多くの基本方針が遂行されないままに年度終了となってしまった。その中で特にできなかったのが職員のアップデート。一番実施をしないといけない事ではあったが十分には出来なかった。

保護者に寄り添った丁寧な対話により保護者様から色々なご意見を頂く事が出来た。

次年度においては職員の学びの場を多くし園全体のスキルアップを目指していきたい。

### 〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	大人の主体性・発信力を磨く
	実践結果	園会議において質会議で学んだことやキャリアアップで学んだことなどを他スタッフと共有したいと研修をした。
	次年度方向性	引き続き継続していくのと合わせて1年間で何か1つ学びのテーマを決めてスタッフ同士で深めていく事もしていく
2	計画・ねらい	子どもの姿を内面から見つめる・一人ひとりに寄り添った保育の実践
	実践結果	子ども一人ひとりの成長をよく見て観察してスタッフで共有する事が出来た。ただ、どこまでの援助が必要なのか等の共有が不十分であった
	次年度方向性	引き続き継続をし、スタッフ同士の会話の中に子どもの成長やエピソード等が話していくようなコミュニケーションを深めていく
3	計画・ねらい	子どもの姿を捉えた保育計画の作成・実践・振り返り
	実践結果	保育計画を決めるときに一人ひとりの発達や心情を気にしながら作成する事が出来た。また、振り返りを行う時には保育者の関わり方、環境を共有し次の計画を考えるようにした。
	次年度方向性	引き続き継続していく

### 〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者に寄り添う丁寧なお迎え対応を通し、子どもの育ちを喜びあう。
	実践結果	3分間対応がしっかりと出来た。 一人ひとりに合った支援の仕方がスタッフ同士で違い共有が出来ていなかった。
	次年度方向性	引き続き継続し出来なかったスタッフ同士の共有には考える場や交換する機会を提供していくようにする。
2	計画・ねらい	保育内容について保護者が深く理解し意見交換の出来る関係性をつくる。

	実践結果	保育参加を沢山受け入れようと声掛けなどを多くしていったが、なかなか参加にまでは繋がらなかつた。ポートフォリオに関してはお迎え待ちの間に見てスタッフとの会話に入れて、興味や関心は得ることが出来たように感じられる
	次年度方向性	保育参加の人数が伸びなくあつたので、もっと積極的に個人個人に声をかけていくようにしていく。

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	園の保育に共感し、気軽に遊びにいける場となる。
	実践結果	地域に向けての発信が園の前での発信のみと言う状態であり集客につなげることはできなかつた。
	次年度方向性	集客の方法をスタッフで考えていき実践をする事が始めになるので行う。
2	計画・ねらい	共に育ち育てる意識の中で、園や朝霞市の子育て支援について全職員が知る
	実践結果	朝霞市の支援や活動の情報を共有する事が出来た。
	次年度方向性	引き続き情報は収集していきその情報を活動にどう役立てていくのかを考えていく

### 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	いつだれが来ても気持ちの良い園・職員
	実践結果	接遇を学ぶ時間を入れて各自が学び取り組むことが出来た。 各自の取入れで個人差が大きくあつた
	次年度方向性	学びについては引き続き継続をし、学びを共有する機会を多く持ちスタッフ全員が同じ対応が出来るようにしていく。
2	計画・ねらい	子どもの心情を見る力を養う。
	実践結果	10の姿をもとにしたエピソード研修は実施できなかつた
	次年度方向性	エピソード研修は実施していく
3	計画・ねらい	リーダー職員の育成
	実践結果	中堅スタッフに見学者の対応を実施し園の説明、特徴を話せるようになった。 他スタッフの MBO を共有して達成に向けての介助、助言をする事が出来た
	次年度方向性	引き続きより良い達成が出来るようにしていく。

### 〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	食の循環を知る
	実践結果	畠仕事が気温の上昇などで計画に対して実践する事が出来なかつた。 命を頂く活動に関しては魚が届き解体から調理まで見る事が出来た
	次年度方向性	温暖化に適した作業の計画をして計画通りの活動が出来るようにしていく 魚の解体は引き続き継続をしていく

2	計画・ねらい	食べ残しを減らし、再利用ができる仕組みを知る。
	実践結果	給食の残渣を減らすためには丁寧な保育。各テーブルに職員が付き声掛けをしっかりし最後まで付き合う事を実施。結果残渣が大きく減ったので全職員に共有した。
	次年度方向性	引き続き残渣の対応を継続し、更に減らすにはどうしていけばよいのかを追及していく。

#### 〈6〉 保育を魅力ある仕事にする

1	計画・ねらい	ゆとりのある保育環境 働きやすい・働きがいのある職場環境づくり。
	実践結果	前期に色々な出来事があり保育環境的には十分と思えることはなくいたが、後半に職員で昼の担当決めをし、ゆとりが取れるようしていった。
	次年度方向性	働きやすい環境とは？職員間で考えて理想に向けて改善をしていく
2	計画・ねらい	誰もが働きたいと思える園となる
	実践結果	実習生や学生見学の対応がなく実施が出来なかった。
	次年度方向性	実習生や見学学生に目を向けても行くが、近隣住民、すべての人に挨拶や会話をしたりしていい雰囲気の印象を与えて働きたいと感じてもらえるようにしていく。

## 2. 施設運営

#### 〈1〉 児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
年度前半： 4~9月	6人	6人	6人	18人
年度後半： 10~3月	6人	6人	6人	18人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	4人	41人	35人	46人	38人	26人	63人	57人	55人	58人	51人	59人	533人
うち0 歳児	0人	31人	25人	20人	18人	15人	24人	18人	13人	17人	13人	17人	211人

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						

## 〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

## 〈3〉 スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	4人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

## 3. 運営報告

### 〈1〉 施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策定会議にて実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・園内研修
給食運営会議	月1回	食育、離乳食、アレルギー食、食残渣の共有
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット、インシデント分析。法人内のケガ事故を共有、ディスカッション
ケース会議	0回	今年度実施なし

## 〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議	月1回	施設長
施設長勉強会	月1回	施設長
食育会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長、調理スタッフ
保健会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

## 〈3〉係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	園内の汚染区域の衛生管理、備品管理の実施
安全対策係	環境、玩具の点検・環境安全整備の実施
防火管理者	避難訓練の立案、見直し、設備の防火管理の実施
食品衛生管理係	食品管理、食育計画の立案、調理室の衛生管理を実施
畠係	畠の情報収集と発信、年間食育計画の実施
生き物係	動植物の管理、それにおける備品等の管理を実施

## 〈4〉行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	祭りの企画、運営。情報発信を実施
朝霞市民祭り 彩夏祭係	なる個体の招集・他園との連携の実施

## 4. 保育支援

## 〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	日々の保育のねらい意識するようにして、子どもたちに必要な環境とはどんなものなのかを考え、共有し用意していった。子どもとの関り方などの基本的な保育士としての立ち振る舞いを考えるようにし自分の保育を見直すことが出来た。
----	---

保育参加	4～3月まで 合計2名 が参加済み (3月1日時点)
保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計2名 が参加済み (3月1日時点)
運営委員会	運営委員会を6月21日、11月29日に当園にて実施し、参加した保護者両日ともに2名 詳細は議事録に記載

## 〈2〉 計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉 給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	自分で決める、自分で選ぶ
	実践結果	自分での盛り付けは実施できなかったが、自分で食べる量をスタッフに申告して提供してもらった。
	次年度方向性	引き続き継続をしていく
2	計画・ねらい	野菜の下処理・クッキング
	実践結果	毎朝の日課として給食で提供する野菜の下処理（皮むき、ヘタ取り等）を経験した。
	次年度方向性	継続して実施していく

## 〈4〉 保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	7月16日／10月17日に実施
歯科検診	6月21日に当園にて実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 6月28日に当園にて水遊び前水難事故研修を実施 ② 9月27日に当園にてアレルギー研修を実施 ③ 10月25日に当園にて身近なケガの応急手当研修を実施
流行した感染症	① 2月に嘔吐下痢、園児2名・スタッフ2名蔓延
発作・痙攣等の対応	該当園児なし

エピペン使用できるスタッフの状況	・本日時点で、在籍スタッフ9名のうち、7名が使用可能
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底した。

### 〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検（法定1回/3年）	業者による対象物の法定点検 2023年実施済み
	フロン点検（簡易）	対象物の簡易点検4・7・10・1月の25日に計4回実施
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月1日、10月1日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／7月16日、10月17日 歯科健診 各年1回／6月21日
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月25日、10月25日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

### 〈6〉 実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	子どもが安心し遊び込める室内環境
---	--------	------------------

	実践結果	環境係が中心になり1月おきに室内環境の状況をヒアリングしていき発達に応じた環境設定が出来た。
	次年度方向性	もっと打ち込めるにはどうしたらよいのかを検討しより良い環境を作る
2	計画・ねらい	五感を意識した環境設定
	実践結果	季節を感じられる自然物や子どもたちの表現活動の作品を積極的に取り入れる
	次年度方向性	引き続き継続をして感性を豊かに育てていく

#### 〈7〉 手作り遊具・家具安全点検結果

##### 手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検実施時期	点検結果
1	木製棚	室内	毎日	異常なし

### 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果 設備点検・事故防止チェック	年間4回 4/7/10/1月25日に実施した
2	実践結果 防災自主点検	年2回 6・12月25日に実施した
3	実践結果 避難消火訓練	年12回 毎月15日に実施
4	実践結果 不審者侵入訓練	年2回 6・12月25日に実施した
5	実践結果 情報セキュリティチェック	年2回 5・11月に実施した
6	実践結果 誤飲誤嚥防止チェック	年4回 4・7・10・1月25日に実施した

### 6. 実習生・中高生の受入

#### 〈1〉 今年度の振り返り

該当なし

#### 〈2〉 実習生の受入

該当なし

#### 〈3〉 中高生の受入

該当なし

## 7. スタッフ研修

### 〈1〉 園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	25日 9名	24日9 名	28日 9名	26日 9名	23日 9名	27日 9名	25日 9名	22日 9名	27 9名	31日 9名	21日 9名	19日 9名
虐待防止研修	25日 9名						25日 9名					
園内研修	25日 8名	24日8 名	28日 7名	26日 9名	28日 7名	27日 7名	25日 7名	22日 7名	27日 8名	31 8名	21日 7名	19 7名

### 〈2〉 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	17日 1名	15日 1名	27日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	21日 1名
施設長勉強会	16日 1名	14日 1名	26日 1名	17日 1名	21日 1名	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	19日 1名
全社員研修	11月に動画視聴にて研修を実施 (全スタッフ対象)											

### 〈3〉 スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

## 8. 地域交流

### 〈1〉 今年度方針・テーマの振り返り

地域の保護者が保育園に足を運びやすいイベントを行うという事で、青空保育や商店街ツアーなどを実施した。

### 〈2〉 実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育 (保育園主催)	月1回 公園名：あかね公園にて

商店街ツアーコース	週1回 主な行き先：東武ストア、トヨタレンタリース、ファミリーマート、セブンイレブン、朝霞駅、朝霞駅前交番、たから整骨院、朝霞郵便局、朝霞市役所等
世代間交流	11月2日に第八小学校にて一緒に遊ぼう交流会を実施
異年齢交流	11月26日にケアハウスにて一緒にお話しして遊ぼうを実施

## 9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

実施なし

## 10. 要支援兒

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直しの状況

今年度、対象園児なし

## 〈2〉毎月のケース会議開催の状況

今年度、実施なし

### 〈3〉 進級引継、および小学校への引継状況

朝霞仲町どろんこ保育園の主任と話をして移るにあたり、日常生活の中で何をしておいた方がいいのかを聞いて4月に向けて活動している

## 11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計0件相談実施済み
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週 (水) 10:00～12:00 ⇒計0回実施済み 参加者延べ人数 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 合計 0名 0名
どろんこ	毎週 (水) 10:00～12:00 ⇒計0回実施済み

芸術学校 どろんこ 自然学校	参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
勝手籠設置	(月) ~ (土) 7:00~20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえつ ぐだより	毎月1日発行												
青空保育 (支援セン ター主催)	月1回 公園名：あかね公園にて 以下日程にて実施												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

## 12. 園運営の向上

### 〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

### 〈2〉 園による自己評価の実施

2024年6月28日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：8時30分

自己評価終了時刻：16時30分

自己評価実施者：青木藍、大木奈穂、嵯峨桜、須田茉由香

### 〈3〉 利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：150%

回答率は法人内で2位と言う成績であった。

任意回答の所で、色々なご意見を頂いた。

日焼け止めや虫よけのスプレーをしてほしい、タイムラインの活用力が弱いなどの意見を頂き職員間で話し合い細かい行事の変更や何かのお知らせの際もタイムラインを使っていく事を共通の認識とした。

日焼け止め、虫よけスプレーに関しては運営マニュアルに記載されているものを確認しでなぜ禁止しているのかを全員が説明できるようにしていった。

## 13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

### 〈1〉 報告すべきご意見

報告すべきご意見 0 件

〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0 件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリーハピングス朝霞南ロルーム 施設長 真邊 敦